

<玖珠町地域包括支援センター様>

上映日: 2025年10月22日(水)

場所: 大分県立玖珠美山高等学校(大分県玖珠郡玖珠町)



男子高校生が感動して涙を流していたことに驚きました。

- 上映会を開催するに至った経緯を教えて下さい。

まずは高校生に「認知症に興味を持つてもらいたい。」「新しい認知症観について知ってもらいたい。」と思い、直接高校に足を運びお願いに伺いましたところ、福祉の授業を選択した高校2年生を対象にお願いしたいと、高校教諭より依頼を受け、映画上映の運びとなりました。

- 実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

玖珠町地域包括支援センター 認知症地域支援推進員です。

- 資金はどのように捻出しましたか？

玖珠町からの委託事業費を使用しました。

- 上映会当日の様子や反響を教えてください。

高校での映画上映は初の試みであったため生徒たちも緊張した雰囲気はあったのですが、上映を進めるごとに内容にのめり込み、涙を流しながら視聴している生徒も見られました。「多くの人にこの映画を勧めたい。」「認知症に対するイメージが変わった。」「認知症になったからといって、何もできない訳ではないということがわかった。」といった感想が多く見られました。

- 今回の活動を通じて、地域作りや今後の活動に繋がりましたか。

まずは高校側に認知症事業のことを知っていただき、今後の活躍の場を広げるための導入企画でしたが、「来年もぜひお願いしたい。」と仰っていただき、来年につながる上映になったと思います。

- 上映会を開催してみて、いかがでしたか？

男子高校生が感動して涙を流していましたことに驚きました。同居率が高いクラスと聞いていましたが、ご自身の家族と重なったり、亡くなられた認知症の祖父母を思い出すことがあったんだと思います。「認知症は終わりではなく、新たな人生の始まりだとわかった。」という生徒の感想を見た時、上映会を開催し救われました。

- 今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

「認知症になつても自分らしく暮らし続けることができる」それを証明してくれる映画内容でした。また来年度も開催したいと思います！！

ご担当者: 松木美加さん